

特集／漁業

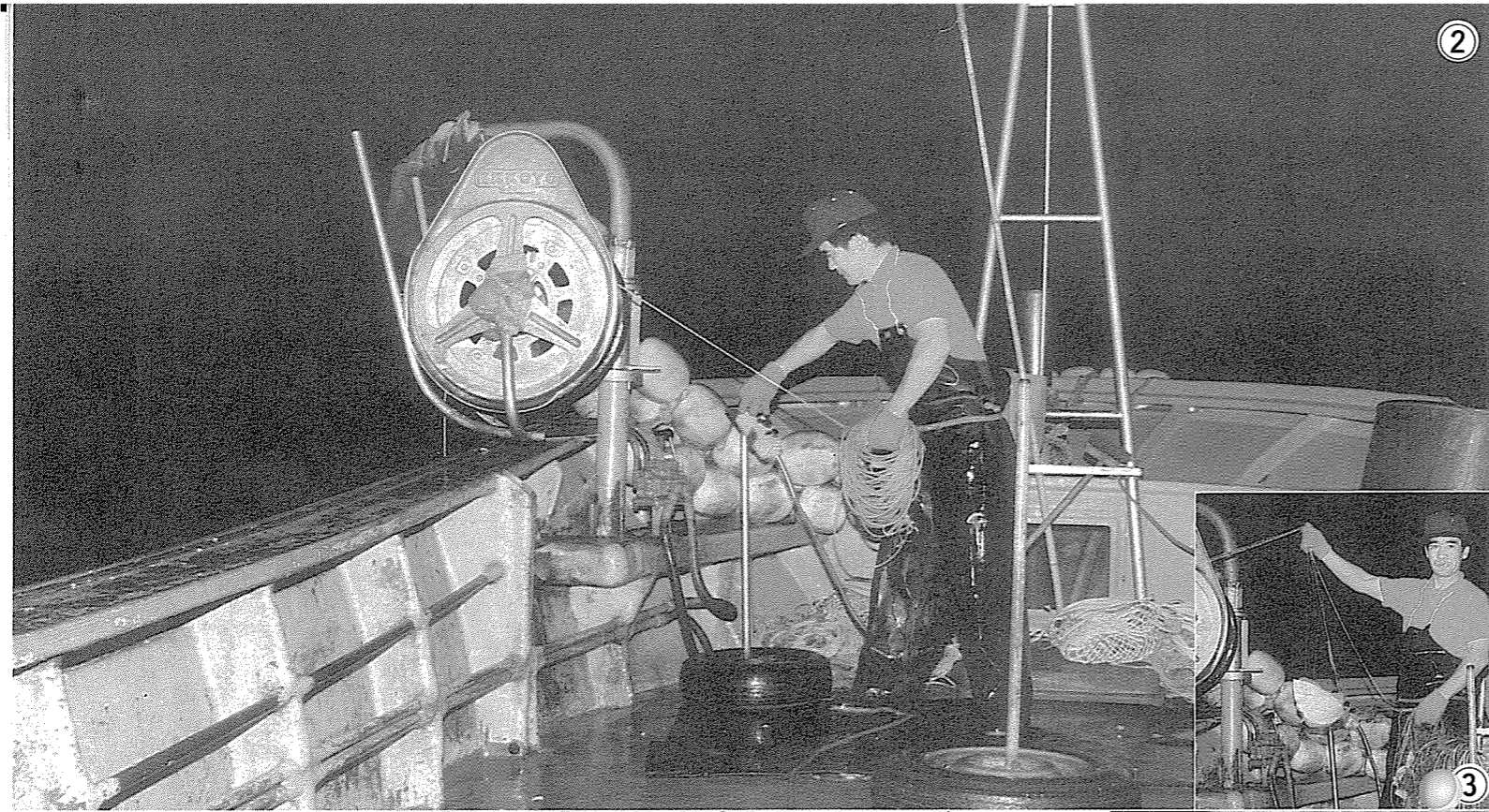
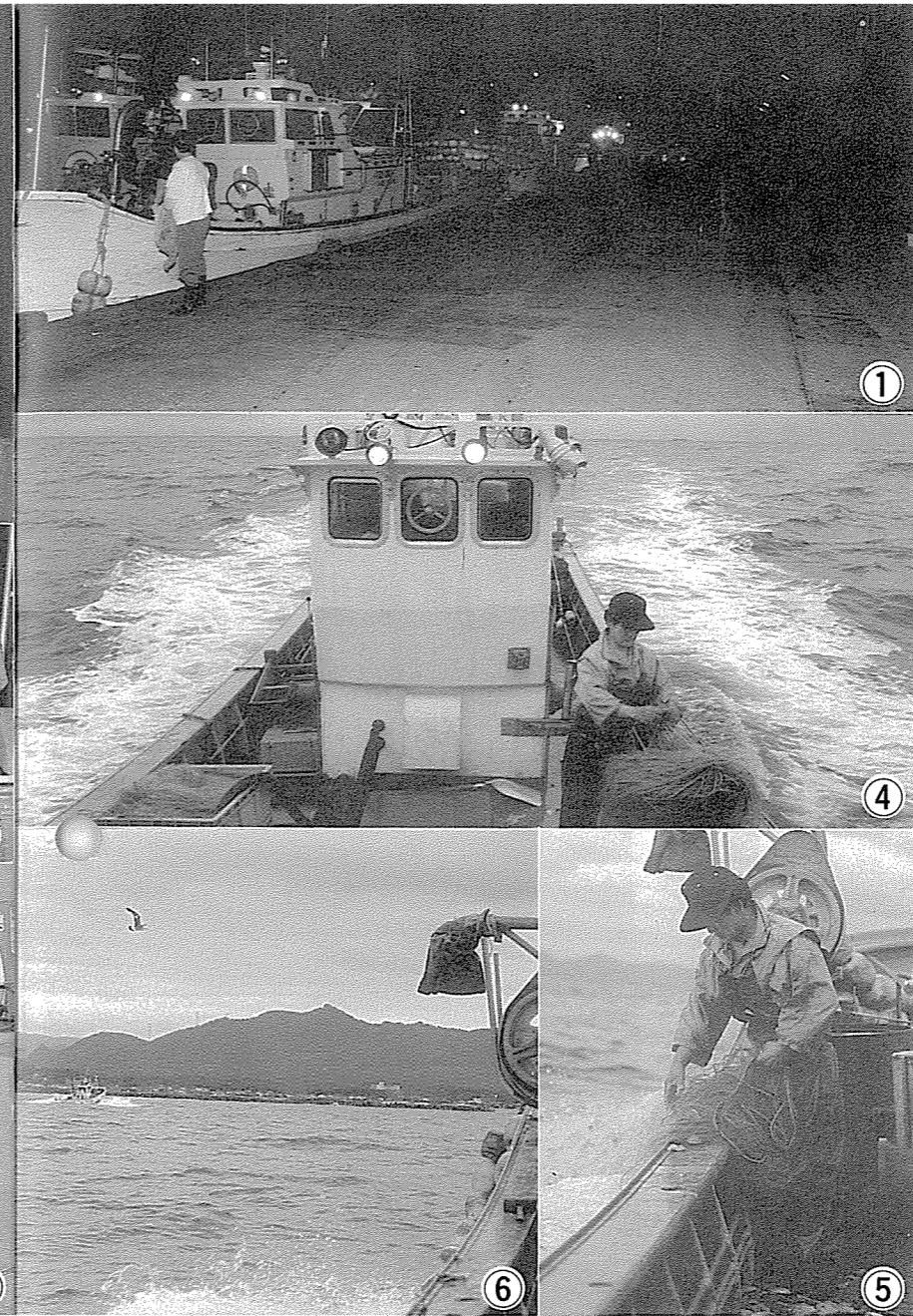
こりやあ 大物だ！

しんち

広報

漁船同乗ルポ

新地の海に生きる



※写真説明※

- ①午前1時、発光器に照らされた港にエンジン音が響く
- ②甲板で一人黙々と網を引き上げる小野さん
- ③初めて、体長30cmのイシガレイが上がった
- ④漁から帰るころ、海原にうす明かりがさす
- ⑤帰りの船上でも刺し網の手入りに余念がない小野さん
- ⑥鹿狼山が見える、もうすぐ港だ
- ⑦港に奥さんが出迎え、船を寄せる
- ⑧船内のいけすからカゴに移す



三貫地貝塚(高田地区)にはほぼ三千年前の人々の生活遺物が残っていて、貝殻とともに多くの魚骨が出てきます。ヒラメやマグロの骨まであります。その当時の人々は丸木船で沖に出て捕ったのです。このように新地では昔から漁が盛んでした。海に面した町、新地。漁業は新地にとって切っても切れないものです。その漁業は今、水産資源の減少や二百㍓規制などから大きな曲がり角に立っています。そして、「捕る」漁業から「つくり育てて捕る」漁業へ。新地の漁業も新時代に対応した資源管理型への転換が迫られています。今回は沿岸漁業の再生に取り組み新地の漁業の特集します。

水神丸出港

などを話している。

操業開始

八月三日午前一時、小野重美さん(46歳・釣師)の漁船「水神丸(六・九)」は釣師漁港を出港。八月に入っても梅雨が明けないこの日は、海上は暗く、強い風が吹き波が荒れていた。

「ドッ、ドッ、ドッ」と発光器に照らされた甲板にエンジン音が響く。小野さんはいつも一人でこの時期、カレイ刺し網漁に出かける。ガス(海霧)がでて視界が悪い。小野さんは操舵室から進路の前方を注意深く見つめる。時々、仲間の漁船と無線で魚の相場

午前二時十分。新地沖合約十八時、漁場到着。いよいよ刺し網漁の開始である。海上は真っ暗。無線から話し声が聞こえ、船のエンジン音や波の音が響く。「ああ、風があるな」と小野さんはぼつりとおぼやきながらジャンパーを脱ぐ。小野さんはリモコン装置で巧みに船を操りながら、船首近くの巻き上げ機で刺し網を巻き上げる。刺し網にはヒトデやカーキ色したカイメ

ン動物などがわかるが、肝心のカレイはなかなか姿が見えない。網の量が甲板の上に増えてくる。何回か揚げる中、最初のカレイがかかった。イシガレイだ。大きさは約三十センチ。小野さんはそれをいねいに網からはずし、船内のいけすに入れた。「十年前までは、一晩でどんどん捕れたが、今は魚がいなくなつた。一反(約八十斤)に一枚の割りでかかれば大漁」と小野さん。既に二時間が経過。午前四時過ぎ、海原にうす明かりがさしてきた。漁が終わった。この日は約三千斤の網に、三十センチのイシガレイとマガレイが十三枚という漁だった。

淡々と小野さんは語る。帰る船の上で、小野さんは刺し網の手入りに余念がない。根気のいる作業だ。ヒトデやカイメン動物などは網目からなかなかとれない。網をドラムカンの温水につけ、やわらかくして取り去る。小野さんは港に着くまで、手を休めることはなかった。

出迎える家族

小野さんは、この次の漁のため、船に積んできた約四十反の刺し網を海に投網した。

午前六時三十分、漁港に戻ると、奥さんのとき子さんが温かい缶コーヒを手にしながら、待っていた。船上から無線で自宅に連絡したようだ。小野さんは、缶コーヒをうまそうに飲み、船内のいけすからカゴに魚を移す。午後一時から行われるセリに出すためだ。「今日は五、六万円くらいかな」と奥さん。その後、二人で刺し網の手入れを始めた。手を動かしながら、二人でゆっくり漁のことや家庭のことなどを話し合うのだろう。

船上に安堵感

帰り足の船上に安堵感が漂う。大漁とはけつて言えないが、今日の漁は、予想どおりだったのだろう。「今の時期の漁はこんなもんだから」

船が漁から次々と港に戻ってくる。迎えに出た家族らの顔がほころんだ。

新地の漁業 新時代

とる漁業から つくり育てる漁業へ

公海の漁獲規制など漁業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。新地漁協は県漁連と歩調を合わせて、今年を「資源管理元年」と位置付け、ヒラメの幼魚の全面禁止を実施、全国の漁業関係者の注目を集めています。さらに、八月から福島県は沿岸漁業の漁法の掛け持ちに一定の枠をはめる「点数制」を全国で初めて実施しました。

ここで、町の漁業の現状と課題を探ってみました。

1、445トン(H²)
金額では6億48百万円

本町の漁業は刺し網漁業、船びき網漁業、貝桁網漁業が主体です。平成二年度の漁獲量は千四百四十五ト、漁獲金額は六億四千八百万円となっています。(表I・図I参照)

漁業者数は百六人で、その半数近くが刺し網漁業を中心に営んでいます。カレイ、サ



▲ 釣師浜漁港に水揚げされたメロウド

漁船の大型化進む

国勢調査(表II参照)からみると昭和五十年に漁業者総数、家族従業者ともピークとなり、その後、やや減少傾向にあります。しかし、総生産や造船隻数、漁獲量は五十年以降に伸びており、半農半漁層の減少や労働力面での合理化がすすんできたといえます。

表II 漁業就業者等の推移 単位:人

	漁業・水産養殖業者	家族従業者
S 40	109	48
S 45	144	58
S 50	180	89
S 55	163	77
S 60	139	66
H 2	139	67

国勢調査

みると、昭和六十一年の登録において、三ト未満の漁船が五ト未満の漁船を上回っていました。平成二年現在、漁船総隻数八十四隻のうち、三ト未満の漁船が最も少なく、約二四%(二十隻)となっています。最も多いのは、三ト五ト未満の動力漁船で全体の約四六%(三十九隻)、次いで五ト未満の漁船が多く、約三〇%(二十五隻)を占めており、近年漁船の大型化の傾向が伺えます。

表III 漁船数の推移 単位:隻

	動力漁船			
	総数	3ト未満	3~5ト	5~10ト
S. 61	85	24	40	21
S. 62	86	24	42	20
S. 63	81	21	40	20
H. 1	82	21	40	21
H. 2	84	20	39	25

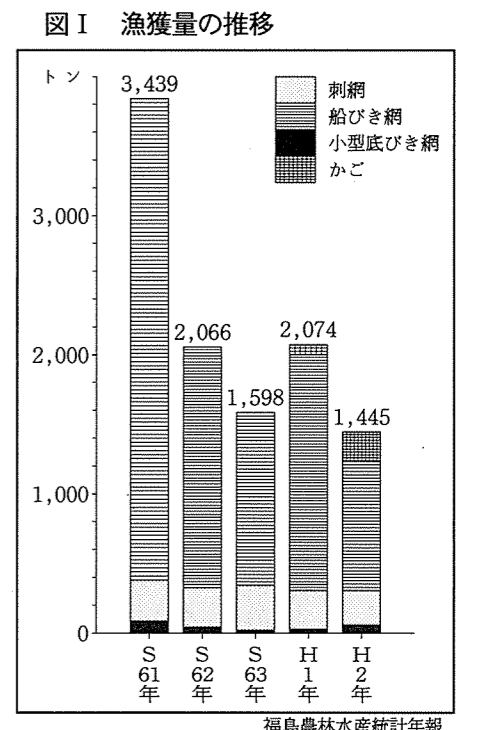
福島農林水産統計年報

げしていますが、近年は昭和六十三年の三千七百七十九トの漁獲量をピークに、半分以下に減少しています。

ホッキ貝は、近年は出漁日数も少なく、平成二年度では四十六トの漁獲量に留まっています。

平成元年から、アナゴ、タコを中心としたかご漁業が行われており、主に活魚として出荷されています。漁獲量は平成元年では八十九トでしたが、平成二年は百六十三トと急速な伸びをみせています。

水揚げされた魚は、主に首都圏に出荷され、次いで大阪・名古屋方面、仙台方面と続き、相馬地方など地元は一割程度となっています。



注目集める

ヒラメの漁獲制限

釣師浜漁港に水揚げされる魚は、カレイ、ヒラメ、スズキ、コウナゴ、メロウド、サワラ、タラ、カニ、アイナメ、サバ、サケなど種類が豊富です。しかし、それらの漁獲量は年々減少しています。漁獲量は、コウナゴ、メロウド漁などの比率が高くなっています。このことから、新地町の漁獲量の多寡は、いかなごに左右されていることがわかります。いずれも漁業種類とも出漁日数の多寡と漁獲量とが比例しておらず、漁獲が不安定という問題を抱えています。



▲新地漁協に掲げられるヒラメ自主規制の看板

将来を見越し 末長い運動に

限られた資源を有効に活用しようとして、新地漁協では「資源管理元年」として今年から、体長三十センチ以下のヒラメは、漁獲も販売もしないことに決めました。この取り組みは、福島県全域で行っており、全

国の漁業関係者から注目を集めています。今後、この試みを足掛かりに、他の魚についても幼魚の保護を進めていく必要があります。

新地漁協青年壮年部がホッキの中間育成を行っています。ホッキ貝はやや変動が激しいだけに、中間育成の積極的な対応が重要となっています。

加工については、きわめて少なく、それも煮干しという低付加価値部門のみしかありません。

今後、釣師浜漁港の整備とあわせて高度な加工製品などの開発が課題となっています。

表I 魚種別陸揚量及び陸揚金額 単位:トン/百万円

	S. 61	S. 62	S. 63	H. 1	H. 2
総量陸揚量	3,439	2,066	1,598	2,074	1,445
主要魚種別陸揚量	第1位 イカナゴ 3,056	イカナゴ 1,749	イカナゴ 1,254	イカナゴ 1,733	イカナゴ 1,007
	第2位 ホッキ貝 108	その他の魚類 131	カレイ 142	カレイ 103	タコ 86
	第3位 その他の魚類 103	カレイ 71	サワラ 35	タコ 57	アナゴ 77
	第4位 カレイ 75	タラ 33	イワシ 30	タラ 41	タラ 65
	第5位 タラ 51	その他の水産動物 25	サケ 26	アナゴ 32	カレイ 45
陸揚金額	462	472	610	709	648

福島農林水産統計年報



▲大きく育て戻ってこいとサケ放流

小野胞藏新地漁協組合長に聞く

時代の変化に対応し、自らできる漁業をめざす。



プロフィール
昭和六十一年五月から新地漁業協同組合長。県信漁連理事、県漁船保険組合理事、県漁業振興基金理事などを努める。「金毘羅丸」の船主で長男の正利さんが船長。七人家族、六十三歳。釣師。

漁協は漁業者が参加してつくる自主的な民間団体。助け合いや共存共栄の精神をよりどころとする。漁協の基本的価値は身近な暮らしの中になくしてはならないと語る小野新地漁協組合長。今、第八次漁港整備計画により新漁港が、また沿岸漁業構造改善事業などにより新たに水産物荷さばき施設、漁村センター、組合事務所などの建設に精力的に取り組んでいます。組合長八年目を迎えて、ますます活躍が期待される小野組合長に、今後の新地の漁業について聞きました。

「まず、最近の漁業を取り巻く状況を教えてください。」
小野 昭和五十五年から二百カイリ規制がスタートし、漁業は一大転換期を迎えました。

その当時百万人いた漁業従事者が現在半減した、といわれます。新地は沿岸漁業ですから、直接的にはその影響は少ないのですが、もう捕り放題、

売り放題の漁業の時代は終わりました。これからは、育てる漁業、管理する漁業の時代に入ったと考えています。

栽培漁業に転換図る

「育てる漁業として具体的に」
「どのような取り組みをして

いますか。」
小野 そのひとつとしてホッキ貝の中間育成に取り組んでいます。経費がかからないで、魚の二倍以上の利潤があるのがホッキ貝漁です。これが安定的に捕れるとなれば、漁家にとって画期的なこと。六年前から試験研究を始め、昨年の夏に一・五㌔の稚貝五万個を放流したのですが、一年後の今月には四・五㌔の大きさに成長していました。もう二年たつと八㌔に生育して漁獲できる大きさになります。これは楽しみです。

平屋のふ化棟と飼育池があり、相馬市の宇多川で採捕したサケから採卵し、豊富な水をポンプアップしてふ化する施設で、年間三百二十万匹のふ化能力があります。三年前から

毎年春さきに、宇多川にふ化した稚魚を放流しています。一回に体長約六㌔の稚魚三十五万匹を「大きく育て戻ってこいよ」と願いを込めながら放流しています(笑)。

競争から共栄へ

「管理する漁業としては今年からヒラメの自主規制が導入されましたが。」
小野 高級魚として知られるヒラメは、ゼロ歳で捕ると産地価格は五十円くらいです。これを一年間我慢すれば、成長して何千円にもなります。ですから、それまでヒラメを太平洋に預けておこうというのが「ヒラメ銀行」の運動です。今年の一月から三十㌔未満のヒラメは捕らない、売らない、食べない、利子がつくまで我慢して待とうということ(笑)。小さいヒラメが網にかかったら直ちに海に戻す。船上で簡単にサイズを測る物差しを配っています。自主規制といっても、監視員を設け、違反者からの水揚げ金額を没収、さらに罰金や操業停止もという厳しいもので

す。これは、何度も会議を開いて組合員に納得してもらったので、おかげで今まで違反者は一人もいませんね。

「もうひとつの方策として、県が沿岸の漁業資源の保護を目的に、許可漁業の点数制が八月からスタートしました。これは全国でも初めての試みだそうですが。」
小野 はい。点数制は、これまで無制限だった魚の漁の掛



▲活気みなぎるセリ風景

け持ちを制限、乱獲防止をするのが狙いです。小型底引き網や刺し網などの魚種ごとに点数を定め、一隻の漁船の掛け持ちする魚種の合計点の最高限度点数を設ける。限度数以上は許可しない。今回の制度では、漁船一隻当たりの限度数は五十点です。どうしても、ある魚がいるとなると皆

が殺到し、結果的として資源の減少と値崩れを招いてきたのです。また、新しい漁具をそろえるため、過剰投資にもつながってしまいましたが、やはり、従来のやり方には多くの弊害もありました。大局的にみて、点数制の導入で資源の圧迫を防ぐことができると期待しています。

漁村の福祉・文化活動を推進

「釣師浜漁港の拡張工事が始まっているようですが。」
小野 八月二日に釣師浜海水浴場の南に漁協の水産物荷さばき施設、漁村センター、組合事務所建設に着手しました。十月には製氷貯水施設も実施します。総事業費約三億七千万円をかけて年度内に完成予定です。漁村センターには会議室、研修室、料理実習室、資料展示室兼談話室を設け、組合員だけでなく地域の交流と憩いの場にしようと考

えています。

「最後に新地の漁業の今後の在り方について聞かせください。」
小野 海は漁業者の生活の場

だけでなく、国土や自然環境の保全という重要な役割があります。海の汚染が年々ひどくなっていますが、漁業者の立場としても訴えていきたい。また、今後は特にレクリエーションの場として海をどう活用していくか、漁民自身が真剣に考える時期だと思えます。漁業は国民の水産物に対する根強い需要、美しく豊かな海

の存在など、未来に希望のもてる要素も多く内包しています。そして、組合員の健康と安全に努めながら、付加価値の高い漁業の推進、管理型漁業の確立をめざしていきたいと考えています。

(ありがとうございました)

あしたの漁業に針路をとれ

漁業は厳しいと言われます。しかし、取材の中で「そんなの当たり前だ。自然や海を相手にしているんだから」とことなげに話す若者たちに出会いました。「漁業はおもしろいぞ」と自信にあふれた笑顔で言い切ります。

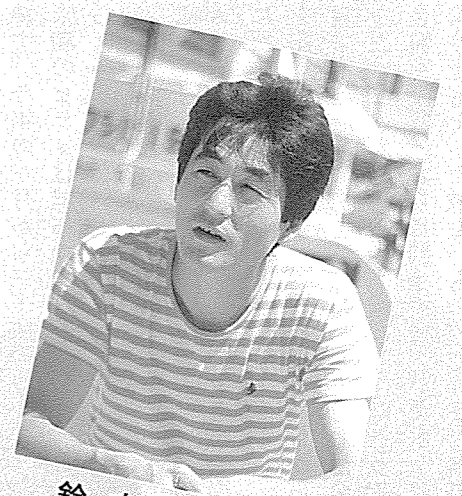
八月二十三日午前十一時、釣師浜漁港前で海に生きる若者たちに話を聞きました。

(司会 広報担当)

何よりも海が好き

司会 皆さん、今日はこれから漁があるようですが、その忙しい中お集まりいただき、

ありがとうございます。今回は、漁業について皆さんから話を伺いたいと思います。



鈴木 豊さん



寺島 秀義さん

早速本題に入りますが、漁業の良さはなんだと思いますか。

西谷 何と言っても、自由だということでしょうね。時間に縛られないから。

鈴木 私は東京で五年ほどサラリーマンをして、Uターンして漁業をしています。会社と違って、時間と人に拘束されません。やはり、その点が違います。お客相手ではなく、魚が相手ですから。今日捕れなくても明日があると思えばいい。(全員うなずく)

西谷 それでは、(漁を)辞められないで今日まで来た(笑)。

寺島(光) それに休みが多



小野 正利さん

いよな。船に乗る日数は、年間二百二十日前後だけど、それにして三、四時間で海から戻ってくる漁もあるし、皆が考えている以上に楽だよな。

浜野 週一回は休みだし、第一と第三土曜日は完全に休み。そのほか、雨や風の強い日も休み(笑)。オカ(陸上)より休みが多いかもしれないな。

寺島(秀) ただ、会社勤めのオカの友達と休みが重ならないから、ちよつと淋しいと思うこともある。

浜野 漁業は、海の上では若いもベテランも関係なく皆一線なんだ。漁が勝負ですから。男らしい仕事だと思っ

バランスがとれている

漁業者構成

小野 今、ほとんどの船が親子でとか、一人乗りですから、他人に気を使わない分、気が楽ですよ。自由にやれる。それに普通のサラリーマンと比べると高収入だ。そして、何よりも海が好きなんです。

司会 今、漁業の課題はなんだと思いますか。

西谷 いろいろありますが、まず魚が減っていることです。私が船に乗り始めたころは、

けっこう捕れましたから。ただその分、魚の単価も安かったな。

寺島(光) 前は、コウナゴとかメロウド、ホッキ貝など捕れませんが、カレイの刺し網漁が主だったですから。鈴木 捕る魚の種類も増えてきたけど、その分資材の経費も馬鹿にはならない。



▲漁港は若者たちで活気づいている。

小野 回遊魚のコウナゴやメロウドなどは今年捕れたといっても次の年はどうなるか分からない。基本的には、カレイ、ヒラメ刺し網など、年間通じて行う漁はサラリーマンでいえば月給、コウナゴなどその節にしか捕れない魚はボーナスのような気持ちが大切なんだろうな。

あお 碧い海を

大切に

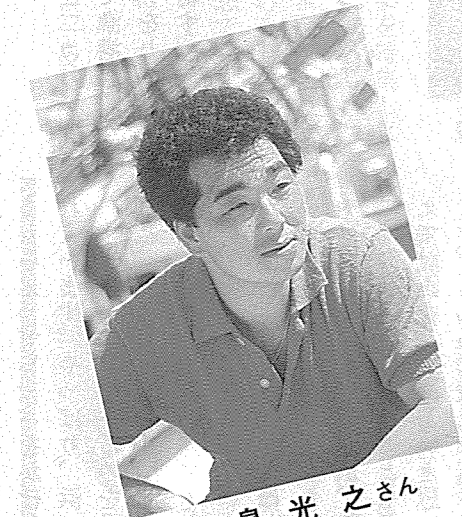
司会 漁業は高齢化、後継者不足が言われていますが。

小野 新地の場合、漁業者百

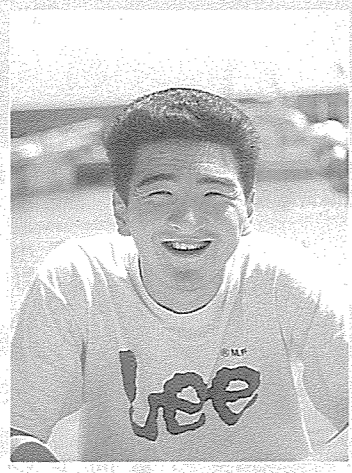
六人で、年間七十日以上漁にでる正組合数は九十三人。その内、五十歳までの青壮年部は三十七人。その中で正式な組織ではありませんが、一応四十二歳までを青年部と言っています。これが二十五人います。規模は小さい漁協ですが、バランスはとれている方です。しかし、近い将来の課題には間違いありません。西谷 海の汚染も年々ひどくなっています。これは我々だけではどうしようもないが、とりあえず、青年部として出来ることからということ、港や堤防に空き缶入れを置いています。それと船の上で飲んだり食べたりしたものは、海に投げないで持ち帰る運動



西谷 一行さん



寺島 光之さん



浜野 仁己さん

を徹底させています。寺島(光) それは、海に遊びに来た人たちにもお願いしたいですね。婦人部では合成洗剤の追放運動にも取り組ん

有意義だった遊海しんち'93



▲遊海しんち'93でビーチバレーを楽しむ漁協青年部

鈴木 いろいろ話せばあるけど、当面、青年部にとつての課題は、どうすればお嫁さんがくる漁業にしていけるかでしょう。結婚してない青年部が副部長を筆頭に十五人くらいいます。これをなんとかしなければと思っています。司会 副部長の西谷さん、どうですか(笑)。

西谷 自分も責任重大だと考えています(笑)。実は、この前釣師浜海水浴場で開かれたイベント「遊海しんち」の時、漁協青年部もお手伝いしたのですが、その時青年部で話したんです。独身女性を募集して船から花火を見せ交流しようとか、水上綱引き大会をしようなどとか話があったのですが、期間が短くまとめるまで行きませんでした。寺島(光) 私はあの日、ビーチバレーに参加したのですが、ぶっつけ本番ではとても駄目でした。来年まで練習して再挑戦します(笑)。

浜野 来年は綱引き大会をしましょう。寺島(秀) 私は二十二歳なので、結婚は先のような気持ちですが、先輩からは早

町の魚

「カレイ」をPR

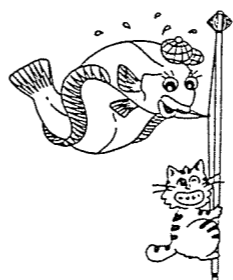


イラスト 横山 薫さん

司会 町では今年、町の魚をPR

くもらえてハッパをかけられていきます。やっぱり、浜で一緒に仕事をしているのを見ると、うらやましく思います。鈴木 これは役場の人にもお願いしたいのですが、若い人が交流できる場を作ってほしいという事です。たしかにやっているのでしようが、時には漁業者の休みのことも考えて計画してほしいと思います。もちろん我々もよそに合わせる努力も必要ですが。小野 オカと生活の時間帯が違うというハンディと、漁業が大変だという世間のイメージが未だにあるんだらうな。寺島(光) だから、漁業者自らもつと漁業の良さをPRしていく必要があるんだらうな。

新しい発想で

新しい漁業づくりを

司会 今年、沿岸漁業の節目の年になる「資源管理元年」ということで、ヒラメ放流の事業化に向けて、資源保護を目指した自主規制を導入しました。新地漁協でも三十センチ未満のヒラメは捕らない、売らない、持ち込まないという厳しい規制を設けていますが、実際のところ、どのような取り組みをしていますか。鈴木 これは歓迎しています。ただ、自分の代で終わりでだと思ってる人は複雑なものがあつてしょうが。でも、今捕って安い値段で売るより、大きくして高い値段で売った方がはるかに率がいいわけ



▲海の安全と大漁祈り安波神社の登宮祭で荒みこし

好きになった人が漁師だった

寺島和加子さん (大戸浜)



私は鹿島町出身ですが、十九の時夫と知り合い、八カ月後に結婚しました。今思うと、

スピード結婚ですね(笑)。グループ交際だったので、最初はどの職業か気にもしないで付き合っていました。父は大工で、私は会社に勤めていましたが、別に漁業だからというこだわりはありませんでした。ちょっと前に「好きになった人が何々だった」という言葉が流行りましたが、私も好きになった人がたまたま漁師だったんです(笑)。

海から情報発信を

尾形康夫さん (県水産事務所職員、今年四月から相馬市駐在)



新地の漁業者はまとまりがいい。それに、後継者もけっこう多いですね。ここは、仙台湾に属し、遠浅で暖流と寒流がぶつかるところで、魚の

種類が非常に豊富です。仙台湾は北上川と阿武隈川の栄養分が補給されていますから、日本有数の漁場といえます。一年中、カレイが捕れるところは、ほかではあまりありませんから。私としては、ヒラメの資源管理がスタートしたばかりなので、まずこれを定着させていきたいと考えています。また、青年部の育成にも力をいれていきたい。漁業も地域振興に役立っていかなければ、取り残されてしまいます。今後、海をどう活用するか、例えば、環境保全の問題、観光面など、海のことには漁業者自身が一番知っていますから、海から情報を発信していかなければならないと思います。福島県は、海のイメージが薄い。でも、隣の原釜漁協は沿岸漁業では日本一です。もっと新地も海のある町をPRしていく必要があると思います。



▲ほかの職業では得られない連帯感と満足感があると話す出席者

大計画があります。この規制と合わせて、現在水揚げの五%を「ヒラメ基金」に蓄え、その費用に充てる取り組みが進んでいます。ヒラメの稚魚放流も百万匹以上に持ち上げるための大切な基金です。鈴木 今、県内のヒラメの水揚げは六、七億円でその五%ですから、大きいです。でもそれが、将来十八億円程度の水揚げが予想されますから、作り育てる漁業の大きなポイントだと考えています。司会 これからの漁業はヒラメに限らず管理型漁業が必要になってくるのでしょうか。小野 そう思います。今は機械が進み、時間も区切って作業していますが、これからはもっと安全で確実に健康的に仕事をすることが大切だと思います。司会 今月は漁業を特集しようとして、だいぶ港に通いました。皆さんに大変お世話になりました。漁業に携わる若い皆さんが、新しい発想で、新しい漁業をつくっていくことが、新しい町づくりにつながっていくと思います。今日は貴重な意見をいただき、ありがとうございました。



▲ 現在の釣師浜漁港。昔の砂浜は想像もできない

▶ 家族で忙しく漁の準備



▲ 昭和29年釣師浜の砂浜から船を下す
 ▲ 昭和29年新地漁協の事務所にて当時の漁協組合長・故 東胞五郎さん
 (いずれも小沼さん撮影)

温故知新「釣師浜漁港」

小沼 勇さん (漁村研究家・元農林水産省構造改善局長) に聞く

温故知新。古きを訪ねて新しきを知る。漁村研究家として各地の漁港を調べ歩いている小沼さん。釣師浜漁港に昭和二十八年に県漁港診断委員として訪れ、それから四十年経った平成四年、前回撮った写真を手にその後の変化した様子を知らいたために再び訪れました。そして、あまりの変りように驚かれたそうです。この四十年間で新地の漁業はどう変わったのでしょうか。小沼さんからみた新地の漁業についてお話しを伺いました。

「どこか淋しさの漂う浜辺」それが当時の印象でした。

私は昭和二十八年四月に県の漁港診断委員として、初めて新地を訪れました。「どこか淋しさの漂う情景」というのが今でも覚えている新地の漁港の印象です。
 昭和二十八年当時、新地漁協の組合員数百十七人、漁船総トン数九十五ト、一人当たりの年間水揚げ八百三十六ト。これは当時の全国平均の五分一という零細さでした。動力

船といっても二、三トの無動力の中古船に動力を付けたものを二十一人、無動力船主が二十五人。漁船をもたない六十四人は、自分の刺し網をもって他の船に乗せてもらう、つまり相乗りです。漁港といっても船溜りもなく砂浜だけ。そこに船を引き揚げては下ろしてしましたから、家族総出の大変な仕事でしたね。当時の漁民は漁業だけでは

生活はささげえきれなく、農業もしていました。農業といっても海岸の砂地の畑が大部分で自給程度。漁の合間を見てのニンソ出稼ぎ、土木人夫とかいろいろの季節労働に出かけていた。また、家族も女工、工員などで生計を立てていたようです。
 当時の漁協は木造バラックの荷捌所に付属した事務所でした。そこに東胞五郎漁協組合長(故人)が火鉢の火をかきながら座っていました。職員は会計と書記と拘打ちの三名だけ、まさに最小規模でしたね。

飛躍的に発展し、まるで別の漁港にきたようでした。

昨年四十年ぶりに取材のため訪れましたが、こんなに変わっているとは夢にも想像できませんでした。

立派な漁港ができ、岸壁に荷捌所、その二階に漁協の事務所とすべてが揃っています。浜辺にあった粗末な小屋のような家々ももう全くない。昭和四十九年に漁港が完成したのが大きな発展の転機となったようです。

港に停留している漁船はすべて五、六トクラスの動力船。真白に塗った新しい漁船が多いのが目立ちました。かつて漁に出ても、ガス(海霧)が出たら大急ぎで浜に戻るしかなかった。今はロランなど最新

小沼 勇さんのプロフィール



大正9(1920)年、兵庫県生まれ。昭和20年東北大学法文学部経済学科卒業。農林水産省官房企画室長、農地局長、構造改善局長、農業者年金理事、日本中央競馬会常務、衆議院専門員・農林水産委員会調査室長、中央競馬社会福祉財団専務などを歴任。著書に「日本漁業経済発達史序説」「日本漁村の構造類型」「農業をつくる国」「農村・漁村の俳句」など多数。千葉県我孫子市。

● 港・インタビュー

▼昔は一、二トの船に七人くらい乗って、砂浜から押し出して漕いで行くんだから、大変だったよ。各自、自分の刺し網を持って行ってそれにかかった魚は自分のものという漁だった。今は夢のようだな。
 (六十代の男性)

▼あと五、六年したら世代交代がはつきりしてくるよ。魚は減っているし、漁師の数が減っても仕方がない。だけど、若い人たちにはやはり甲斐のある時代になると思うよ。
 (五十代の男性)

▼これからの漁業は必ずしも親と同居しなくとも仕方がないよ。若いうちは別居してアパートから通う漁業もいんでないかい。(六十代の女性)

▼そうね、捕れたばかりの魚のおいしさは、ちよっと違うみたい。嫁いで初めて本当の魚のおいしさを知りました。
 (三十代の主婦)

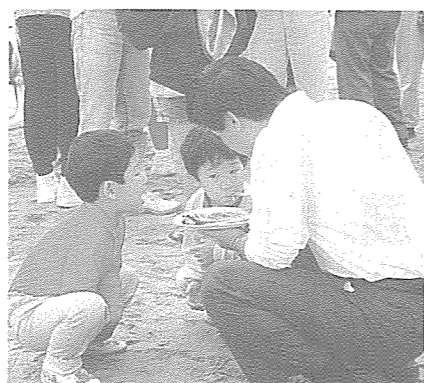
▼お父さんが一生懸命働いてる海だから、少しでもきれいな海にしたい。だから、私は海にごみは投げません。
 (小学生・女子)



▲ 投げた、走った、拾った、ホッキ狩り



▲ サンマの無料試食会に人集り



▲ ア〜ン！ ぼくにもちょうだい



▲ 200人以上を楽しませた地引き網、魚の数より人の数が多かったね。

「海のある町」を広くPRしようと、初めて企画した「遊海しんち'93」（実行委員会主催）が八月七日、釣師浜海水浴場で開かれました。雨模様の天候にもかかわらず、家族連れや若者たちのグループ延べ約一万五千人が訪れ、にぎわいました。
会場にはイカやカレイなどの新鮮な魚介類や特産のいちじくワインの試飲・即売、焼きソバや焼きトウモロコシなどの模擬店が並びました。
イベントは地引き網、ホッキ狩り、ビーチバレー、スイカ割り大会、写真コンテストなど盛りたくさん。地引き網は午前と午後の二回行われ、それぞれ百人以上が参加し、スズキ、イシモチ、サバなどが入っているのを見て、歓声を上げていました。千二百個まかれたホッキ狩りには約七百人が参加、一人で四、五个採る子供もいました。
夜は町初めての花火大会が行われ、スターマインなど千発が一時間にわたって打ち上げられ、つめかけた見物人は海に映えるあでやかな花火を満喫していました。

ゆ かい
遊海しんち'93

イベントいっぱい笑顔がはじける



▲ 若者たちが白熱した試合を展開、ビーチバレー。



▲ いちじくワインいけるわ



▲ 夏はやっぱりスイカ割りだね



▲ 数字が早くそろった方が勝ち！（ビンゴゲーム）



▲ 大人も子供も町初の花火大会を満喫



▲ 夏祭りを盛り上げた夜の模擬店

相馬地域開発が花開く時

相馬港エネルギー港湾完成・石炭船第二船入港

重要港湾・相馬港のエネルギー



ギー港湾整備事業が完成し、六万トンの石炭を積んだパシフィック・プロスペクト号が入港しました。

八月十日には、エネルギー港湾完工式が、翌十一日には第一船入港歓迎式が、相馬市の光陽会館で開かれ、会場は祝福ムードに包まれました。

石炭船入港祝賀会には佐藤県知事、佐藤静雄、太田豊秋両参議院議員や、荒木東京電力社長、八島東北電力社長、熊谷三井物産社長、根本日本郵船社長ら来賓、関係者約百二十人が出席。来賓あいさつで荒町長は「相馬地域開発が計画されてから約二十年の歳

月が流れているが、この間、約四百五十分の土地買収に応じてくれた七十二戸の地権者の協力なしには語れない。この日を迎え、感無量です」と感謝の気持ちを表しました。

エネルギー港湾は昭和五十六年に指定を受け、十一年で約四百五十億円を投じ防波堤延べ三千三百三十メートルを建設、東京ドーム三杯分の土砂をしゅんせつ、今年三月に工事が完成しました。

また、石炭船パシフィック・プロスペクト号は約六万トンの石炭を荷揚げしました。そして、火力発電所一号機が今年の十一月から試運転を開始します。

佐藤県知事が鹿狼山視察

石炭船第一船入港祝賀会を終えた佐藤県知事は、原町林業事務所などの案内で、鹿狼山を視察しました。佐藤知事が鹿狼山を訪れたのは初めてで、昨年三月に完了した県事

業「鹿狼山多目的保安林整備事業」の視察が目的。杉山原町林業事務所長らから事業の説明を受けた後、福島緑の百景選定記念碑の側に、記念植樹として佐藤知事が県の木

「ケヤキ」、荒町長が町の花「サクラ」をそれぞれ植えました。

当日は台風が接近し、ぐずついた天候でしたが、佐藤知事は元気の足取りで頂上をめ

さしました。途中、原生林の中のクリやコナラ、イネブナ

などの巨木に魅せられながら、三十五分のハイペースで登りました。



山頂ふきんはガスがかかって展望の悪いあいにくの天候となりましたが、佐藤知事は記念写真に収まりながら、夏山を満喫しているように見えました。



第2回現代の絵画展

中央の第一線で活躍する作家と地元作家の作品を集めた「第二回現代の絵画展」が八月二十二日から二十六日の五日間にわたり、農村環境改善センターで開かれました。初日は日曜日とあって町内外から大勢の人が詰め掛け、五日間で約千三百人が鑑賞しました。

初日はオープニングセレモニー「作家とのひととき」が開かれ、東京などから駆けつけた作家約二十人が出品作を解説しました。町内にアトリエを持つ洋画家斎藤研さんや

小山よしえ、鈴木ツトムさん、地元作家坂元郁夫さん、倉本信之さん、三條敦さんらが自作の作品を説明しました。作家の生の解説を聞いた約百人の出席者は「作品を見る新たな手掛かりが得られた」と好評でした。

「昨年は終わった後で知ったので、今年こそはと見にきました」（小高町の女性）「仙台や福島美術館へ行かないといひ絵は見れないと思っていた。でも、こんな近くでこんなすばらしい絵が見れ感激した」（相馬市の男性）とベテ



ランから気鋭の新人までのエネルギーギッシュな作品を熱心に見つめていました。

子供たちと健康交流

東京医科大学児童研究会

夏合宿に来町



東京医科大学の児童研究会が七月二十九日から十二日間にわたり、老人憩の家と農業後継者センターで夏合宿を行いました。同研究会は昨年にも続き二度目の来町。子供を通じ

て親に健康の大切さを認識させ、啓発させようと合宿しているもので、医師、学生、看護婦の約四十人が参加しました。

町内の子供たちの健康診断、小児成人病の事後指導のほか、鹿狼少年教室生と運動会、キャンプファイヤーなどで交流しました。また、七月三十一日と八月一日に健康講演会が農村環境改善センターで開かれ、星加明徳教授が「こどもの心身症」、堀江英尚講師が「エイズとは？」と題して講演しました。

同研究会は八月七日に開かれた「遊海しんち」の花火大会を楽しみ、八日に帰京しました。

福田小立子山親子交流

福田小四年生と福島市の立子山小四年生、そのPTA約七十人が、七月三十一日、八月一日の両日、釣師浜海水浴場を中心に親子交流会を行いました。



この交流会は公民館の主催で、昨年の新地小との交流に続き今年で二回目。夏は新地に民泊、海などで交流し、冬は立子山に民泊し、スキー交流などします。

二日間とも天候に恵まれ、じりじりとした真夏日。福田小の子供たちは暑い砂浜で立子山の子供たちを歓迎。子供

たちはすぐに打ち解け、海水浴や、地引き網、スイカ割り、バーベキューなど楽しいひとときを過ごしていました。地引き網では、スズキやイワシ、サバなどが入っているのを見て、大きな歓声があがっていました。

海での自然体験、宿泊訓練も兼ねた民泊、釣師浜漁港、市場の見学などの体験学習を通じての交流会は子供たちにとって、夏一番の思い出になったことでしょう。

希望を胸に巣立ち



▲大人としての自覚新たに



成功する人には必ず哲学が

吉川 団十郎さん

(陶芸家)

講演 「すじがきのない人生」

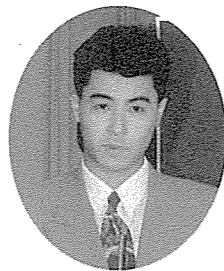
講演

二十歳となる今年、私にとって学生から社会人へと変わる節目の年です。学校生活最後の年なので社会人としての生活を充実できるように一生懸命頑張りたいと思います。
門馬愛子さん



成人の主張から

今、日本映画学校に通っていますが、将来はビッグスターになって故郷に錦を飾りたいと思います。皆さんも夢に向かって頑張ってください。選挙はしましょう。
目黒英智さん



ある。多くの日本人の哲学は、隣の人のだ。皆と同じだと安心しているが、その反面こんなはずではなかったといつも不満を抱いている。自由に生きること、安定した生活を得ることの両方を得ることは難しい。自由を欲するならば貧乏は覚悟しなさい。偉大なものを得るには、偉大なものを捨てなければならぬ。好きな仕事に出会えたら人は燃える。好きでやること、目標に向かって努力することが大事だ。

た。

- 式辞、祝辞、答辞は短めにお願いします。
- 現在北海道在住しておりますが、成人式当日は夏休み期間中ですので皆の顔がなつかしまれ、皆と会いたいのので出席いたしますので、よろしくお願いします。
- 成人すると言うことで、今までの保守的な立場から主体的な立場へ変わったのだから、社会の一員として今までよりもっと積極的に社会に関心を持つもりです。
- 成人式を他人ごとのように考えていた私にも、成人式の案内がくるとは感無量です。中学、高校と自分の人生を決めるいくつかの分かれ道がありました。成人を迎えるにあたって、本当に人生の岐路に立ったように思えます。
- 気持ち的には十九歳と二十歳はほとんど変わらないと思う。しかし、選挙権を得るという重要なこともある。棄権せず、これからの社会を考え、大事な一票としていきたい。
- 二十の自覚と責任を持って、美容師の道を頑張っていきたいと思えます。

—成人式のしおりから—



▲力強く答辞を述べる岡田さん

今年もお盆成人式が八月十五日、農村環境改善センターで開かれ、百七十二人が大人の仲間入りをしました。当日は、夏の軽装で帰省者を含め百二十五人が出席。中学や高校卒業後、久しぶりに会う人が多く、なつかしさに歓声をあげるなど、にぎやかな光景が見られました。式には新成人、来賓、町・議会関係者など約二百人が出席。荒町長が「成人としての自覚を持ち、世界に通用する人間になってほしい」と祝辞を述べました。寺島海一町議会議員、木幡弘道衆議院議員、森直輝青年会長が祝辞、激励の言葉を送りました。成人者を代表して岡田清志さんが「これまでよりワンランクアップした生活をめざし、自分の力を出して生きていきたい」と答辞を述べました。続いて、十人の成人者が壇上に立ち成人の主張を行いました。終了後、吉川団十郎さん(陶芸家・村田町)が「すじがきのない人生」と題してユーモアを交えながら講演、会場を笑いの渦に巻き込んでいました。また当日、広報アンケートをお願いし、四十四人の方から回答をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。



▲記念品のマグカップを手に



▲ご夫婦で成人式に参加



▲「ワー久しぶり」と歓声

● 二十歳、成人式と言われても正直言って実感がありません。これからも今までどおりマイペースで頑張ろうと思っ

● 今の時代がどんなにお金に左右されているかがバブルの崩壊によって思い知らされました。しかし、国家の最高機関である国会もお金にずいぶん左右されているので、とても残念です。これからの時代を築いていく私たちはどんなに魅力的なもうけ話があっても心を動かさないほどの精神力と時代を反映させるための知識が必要だと思います。

● 今まで学生だからと心のどこかに自分に対して甘えがあり、両親を頼ることが多かったように思います。しかしこの成人式を機会に自分に厳しく、自分の行動に最後まで責任をもち、成人としての自覚をもって、自立していきたいと思います。

● 国で決めたカレンダーどおりの一月十五日にしてほしかった。

成人を迎えての感想

The Photo Scramble



碓浜老人クラブ(長倉武雄会長・会員25)が8月6日、碓浜公会堂で同地区の子供約20人と七夕まつりを行いました。この交流は平成元年から行われ今年で5年目。手作りの七夕を作り短冊に一人一枚つつ願いごとを書いて飾りました。もちつきも行われ、きねと臼でついたモチを皆でおいしそうにほうばっていました。夜はPTAが老人クラブの芳をねぎらい花火大会など子供たちと一緒に楽しみました。

碓浜老人クラブと子供たち

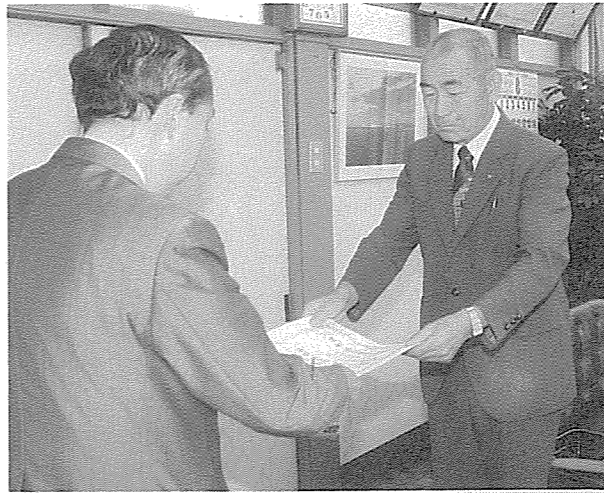
七夕まつり大会で交流



釣師健全育成会

親子でスイカ割り

釣師地区青少年健全育成会(会長・荒利衛区長)主催による親子ふれあいスイカ割大会が8月1日、釣師浜海水浴場で行われました。当日は久しぶりの真夏日となり、約80人の親子が参加しました。目隠しをした子供たちが、スイカ割りの棒を振り下ろすたびに大きな歓声があがりました。



町納税貯蓄組合連合会会長、加藤清美さん(新地町)が8月6日、県原町県税事務所長から納税の普及に努め、県税の納税に寄与したことが認められ感謝状を受けました。加藤さんは同連合会会長を13年間にわたり努め、また、福島県納税貯蓄組合連合会の役員でもあります。新地町で県税事務所長から感謝状を受けたのは加藤さんが今回、初めて。

加藤清美さんが 原町県税事務所長から感謝状



駅をきれいに 新地高生が清掃

自分たちがよく使う施設などを自分たちの手できれいにしようと、新地高校生が8月6日、新地駅の清掃を行いました。この日は、生徒会役員の但野美紀子さん(同3年)、水谷孝也さん(同2年)が、吉村・山口先生と一緒に、壁の汚れ落としや、構内のごみなどを丁寧に拾い、美化に努めています。学校では「月一回程度、継続して行いたい」と話していました。

花を求め
お盆市にぎわう

しんちお盆市(夕市)が8月11日午後4時から農村環境改善センターで行われ、約2,000人の人出でにぎわいました。同お盆市は、新地朝市出店者会が主催。会場には花木・野菜・青果、ほうきなどの日用品が広場の各所で広げられ、お盆の花を買い求める人が多く目立ちました。



福田小女子バレーボール

県スポ少大会で第2位 東北大会へ

福島県総合体育大会福島スポーツ少年団福島大会で福田小女子バレーボール福田エンジェルスが第2位に入賞、東北大会出場を決めました。8月3日に役場を訪れ、荒町長に喜びの報告をしました。太田久監督は「東北大会でも全力を尽くしていきます」と決意を述べました。



ソフトバレー

新地町チーム 全国大会第3位

第四回全日本ソフトバレーファミリーフェスティバルで新地町チームが第3位に入賞。8月10日役場を訪れ、星薫公民館長に報告しました。ソフトバレーは、ゴム製ボールを使って大人男女2人、小学生2人の4人組みで行うバレーボール。全国大会は57チームが出場。新地町チームは、堂々の3位に輝きました。



星 まどかちゃん
(1歳6ヶ月) (富倉)

新地町役場 / 〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40
TEL 0244(62) 2111・FAX 0244(62) 3194

国民健康保険
被保険者証の更新をお忘れなく

今年も国民健康保険被保険者証の更新時期になりました。現在使用している被保険者証は、9月30日で無効となります。10月1日までに、各班長さんなどを通じて行政區長に返し、新しい被保険者証を受け取ってください。被保険者証に変更があるときは、速やかに被保険者証と印鑑を持って役場窓口へ届けてください。

● 更新手続きを
● 被保険者証も
● 更新手続きを
● 被保険者証も

● 更新手続きを
● 被保険者証も
● 更新手続きを
● 被保険者証も

お知らせ

9/15敬老会

町では、9月15日の敬老の日、70歳以上のお年寄りを招待して、敬老会を開催します。また、結婚50年の金婚夫婦表彰も同時に行います。式典終了後は、町内踊会による芸能ショーを行います。



● 日時 9月15日(水) 午前8時受付開始
● 場所 農村環境改善センター ※75歳以上の方には敬老祝金
● 問合せ先 役場町民課 (☎2111)

お子さんの健康状態のよい時に

麻しん予防接種

指定医療機関を通じて、麻しん予防接種を実施します。お子さんの健康状態のよい時に申し込んでください。
● 対象 生後18ヶ月～36ヶ月(希望により生後12ヶ月～72ヶ月も可)までの幼児
● 料金 2,000円
● 手順
① 役場から申込用紙の交付を受ける。
② 家を出る前に、お子さんの体温をはかり、麻しん定期予防接種通知書・問診票に記入する。
③ ②と母子手帳を医療機関に持参する。
● 指定医療機関 遠藤内科医院 (☎2135)
加藤医院 (☎2011)
● 実施期限 12月24日(金)
● 申込み・問合せ先 役場保健課 (☎2111)

町内の交通事故 事故多発!!

今年に入って町内での交通事故が多発しています。死者数・発生件数・負傷者数とも過去5年間で最悪のペースで急増しており、特に死亡事故が目立ちます。交通ルールとマナーを守り、安全運転を心がけましょう。

新地町内の事故 (7月31日現在)

発生件数	18件(昨年15)
死者数	3人(昨年1)
負傷者数	23人(昨年23)



秋の交通安全運動重点事項

- ① 子供と高齢者の交通事故防止
- ② シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底
- ③ 青少年運転者による無謀運転の防止
- ④ 夜間運転の交通事故防止
- ⑤ 違法駐車の手止め出し

シルバーフェスティバル 参加者募集

県では長寿社会県民憲章策定、老人福祉法施行30周年を記念し、「シルバーフェスティバル」をあげま総合運動公園で開催します。「フェスティバル」では子供からお年寄りまで楽しめる「ウルトラクイズ大会」「大芋煮大会」など多彩なイベントが盛りだくさんです。ご家族そろってお出かけください。

- 「世代間交流ウォークラリー」参加者募集
- 申込み方法 2～5名を一組として、往復ハガキに参加希望日(9日又は10日)参加者全員の氏名・年齢、代表者の住所・電話番号を明

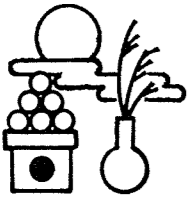
全国一斉司法書士 無料相談

記し申込みください。(午前10時30分スタート) 申込み締切 9月20日(月) 問合せ・申込み先 県高齢福祉課 (☎024527165)

〔登記・供託・訴訟書類の作成など〕
10月1日は「法の日」です。福島県司法書士会では、登記や供託の手続き、訴訟書類の作成などについての無料法律相談を行います。相談は個別にうかがい、相談内容はすべて秘密にいたします。

- 日時 10月6日(水) 午前10時～午後3時
- 場所 小高中央公民館
- 内容
▽ 不動産の相続・売買・保存などの登記
▽ 会社の設立・役員変更・増資などの登記
▽ 借地借家法に基づく手続き・供託の手続き
▽ 家事審判手続き・訴訟書類の作成など
- 問合せ先 福島県司法書士会 (☎024527502)

消息



7/21～8/20 届出

▷出生(届出は14日以内に) おめでとうございます。

(子供)	(親)	(地区)
あきひろ	鈴木 一幸	崎 藤 大山田
ひろみ	林 雄一	菅 菅 谷
あきひろ	目黒 善彦	岡 小 川
あきひろ	阿部 忠	岡 小 川
あきひろ	山田 好伸	新 地
あきひろ	野見山 憲一	新 地
あきひろ	上 竹 成	新 地
あきひろ	金子 正一	新 地
あきひろ	作間由里子	新 地

▷死亡(届出は7日以内に) おくやみ申し上げます。

(死亡者)	(年齢)	(地区)
森 忠昭	62歳	目 杉
鎮田 正義	55歳	上 真弓
佐藤 サト	65歳	富 倉
佐藤 フク	80歳	鉄 砲
神山 久藏	83歳	新 地
山口 チヨ	68歳	藤 崎

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

こころちは保健婦です

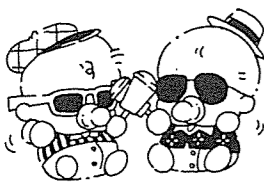


斎藤洋子保健婦

新地町には三十八人の食生活改善推進員さんが現在活躍しています。乳幼児健診の時の手作りおやつづくり、講習会の参加、各担当地区での伝達講習会の実施、給食サービスへの参加など、事業内容は豊富です。仕事をもっている方が多いので、各事業に出席するのは大変だと思います。みなさんのボランティア精神には頭が下がる思いです。そんななかでも、食改さんが楽しみながら参加している事業は、乳幼児健診の時の手作りおやつづくりのようです。家庭でのおやつはどうしても市販のものを買ってしまいがちが多いのではないのでしょうか。この事業は ○子供とのふれあいの機会を

もつ ○栄養のバランスを考えたおやつを与える ○食品添加物などの少ない、安全な食品をとる 以上の観点から実施しているものです。

各乳幼児健診の最後に手作りおやつをお母さんとお子さんに試食してもらいます。お母さんがスプーンで食べさせようとすると、それを待ちかねてわしづかみにし、回りの「わっ」という反応をよそに満足そうにムシャムシャ食べているのを見ると、大変うれしくなります。「今日は残さなくて食べてくれたね」「あの子は食が細いみたいで、あまり食べなかったね。体重も少ないよ。ただ、いっぱい食べておっくんになってくれるといいね。」など、喜んだり心配したりしながら、子供たちの食べる姿にみえています。健診に参加したお母さん方には作り方を書いたプリントをお渡ししていますが、お家に帰ってから作って頂けたらいいですね。



募集します

自衛官

(女子)



平成5年度第2次自衛官(2等陸士・海士・空士)女子を次のとおり募集します。

- 日時 10月7日(木)
- 場所 陸上自衛隊郡山駐屯地
- 試験科目
 - ・筆記試験(国語、数学、社会、作文)・口述試験・身体検査

体検査
締切 9月30日(木)
問合せ先
県消防防災課災害対策係
(☎0245②7194)

相馬地方

広域水道企業団

シンボルマーク

相馬地方広域水道企業団では、企業団のシンボルマーク(団章)を募集しています。個人、グループなど特に制限はありません。

- 応募方法
 - ▽B5の白紙一枚につき1点
 - ▽1人何点でも応募可。ただし、自作、未発表のものに限りです。
 - ▽作品には、住所・氏名(ふりがな)・年齢(生年月日)・性別・職業・勤務先(学校・学年)・電話番号を必ず記入してください。
 - ▽作品のイメージ、創作・発想の理由等があれば記入してください。
- 締切 10月31日(日)
- 問合せ・送り先
相馬地方広域水道企業団
(☎0245①020)

9月9日は「救急の日」

119番は落ち着いて正確に
9月9日を「救急の日」に定められたのは昭和57年のことです。この日は救急医療と救急業務について、私たちが正しく理解し、認識することと、救急医療関係者の意識を高めることを目的に制定されたものです。



▲救急活動の拠点・新地分署

予想されます。救急車を呼ぶときは、①事故の発生場所と近くの目標②どのようなケガか病気が③ケガ・病人の容態(簡単に)などを落ち着いて話してください。

消防操法競技相双大会 自動車ポンプ・小型ポンプの部 ダブル入賞

県消防操法競技相双地方大会が、7月31日に原町第一中学校で開かれ、自動車ポンプの部で福田(第三分団第八部)が準優勝、小型ポンプの部で高田(第一分団第一部)が第6位に入賞しました。新地町が、相双大会で両部門ダブル入賞は初めて。消防関係者は喜びを新たにしていました。

地価税の申告と納付

国の重要な役割の一つに、社会保障があります。お年寄りや心身に障害がある人など、社会的、経済的に弱い立場にある方々の生活安定のため、社会連帯に基づく支えが必要です。老人医療費給付や各種施設の整備など、財政支出の面で社会保障を充実させる一

国税だより

- 社会福祉協議会へ
 - ・早川キクエさん(新地町)より故早川盛さんのご遺志として 10万円
 - ・鎮田妙子さん(上真弓)より故鎮田正義さんのご遺志として 10万円
 - ・菊地久光さん(沢口)より故菊地一さんのご遺志として 10万円
 - ・佐藤栄一さん(鉄炮町)より故佐藤フクさんのご遺志として 10万円
 - ・大堀憲太良さん(中島)より 10万円
- 日本赤十字社新地町分区長へ
 - ▽北海道南西沖地震災害義援金として
 - ・ききわけ地蔵尊建設委員会 10万円
 - ・新地町老人クラブ連合会 36,815円
 - ・新地町農業委員会 36,000円
 - ・新地町地区スポーツ会より 5,000円
 - ・匿名で タオルケット、衣類他

スナック



広報にあなたの写真のついたら、ご連絡ください。さしあげます。

「前立腺肥大症」 健康講演会

尿が出はじめるのに時間がかかる、尿に勢がないなど排尿障害は前立腺肥大が原因となるケースが多く見られます。「前立腺肥大症」を正しく理解するための講演会を開催します。お誘い合わせのうえ、参加ください。

- 日時 9月22日(水) 午後1時30分～3時
- 場所 農村環境改善センター 公立相馬総合病院 熊佳伸医師
- 問合せ先 役場保健環境課 (☎0245②111)

町民号

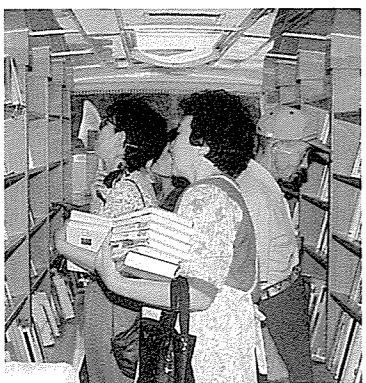
参加者募集

町民号の参加申込みは100人をこえ、募集定員まで残り15人となりました。参加希望される方はお早めに申込みください。

- 旅行先 西九州「長崎・ハウステンボス・熊本路の旅」
- 実施時期 10月26日(火)～29日(金)
- 旅行代金 119,000円
- 募集定員 120名
- 申込み先 役場企画振興課 (☎0245②111)

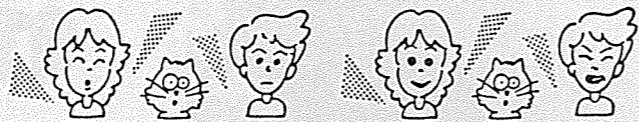
公民館・勤労青少年ホーム 9月11日～10月6日のこよみ

- 9月
 - 11(土) 短歌教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
 - 14(火) 手編教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム) 生花教室(午後7時 勤労青少年ホーム)
 - 16(木) 墨絵教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
 - 17(金) 料理教室(午前9時30分 駒ヶ嶺公民館) 墨絵教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
 - 22(水) ことぶき大学(午後1時30分 新地公民館) 生花教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
 - 28(火) 手編教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
 - 30(木) 婦人学級(午前9時30分 新地公民館) 手編教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
- 10月
 - 6(水) カラオケ教室(午後7時 勤労青少年ホーム)



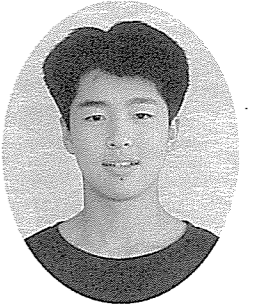
県立移動図書館「あじま号」来町 何冊でも借りられます。

- 日時 9月16日(木) 午後1時～3時
- 場所 農村環境改善センター
- 問合せ先 新地公民館 (☎0245②2085)



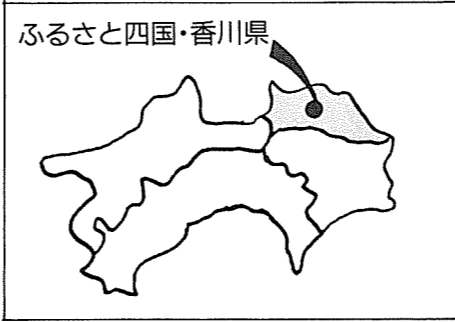
青少年健全育成町民会議
意見発表②

二つの土地に住んでみて



五味 義規さん
(尚英中3年)

僕は、生まれてから現在まで十五年間という月日を過ごしてきました。そのうち十四年間は、僕が生まれた地、香川県で過ごし、昨年の夏から約一年間を香川から千キロメートル離れたこの新地で過ごしました。



ふるさと四国・香川県

父の会社の勤務の都合だった新地に引っ越して来たのは話す言葉もなかなか理解してもらえませんでした。しかし、新地に来てからは来てよかったと思うこともたくさんあります。一番よかったなと思うことは緑の豊かさです。だんだん都市化し自然が失われていく日本でこれだけ多くの緑を残せるのはすばらしいことだと思います。

僕が目から見て新地は少しはなかな感じがします。そのため香川と比べて不便だなと思うこともけっこうあります。とたくさん必要だと思っています。また大きなスーパーマーケットがいくつかほしいです。これらのことをまず町の中心となるべき駅を中心として発展させるべきだと思っています。あと国道沿いにもスポーツ、音楽、家具などの専門店がほしいと思います。町民だけの新地町でなく、人の出入りの多い活気ある町にしていく時代になっていくと思います。もう一つは、町の象徴、特産品など新地ならではの物を全国に名をとどろかせるような新しい新地町をつくってほしいと思います。僕が心より新地町に願っています。



▲五味くんの故郷香川県観音寺市のシンボル銭形の砂絵

しかし、このような発展をとげ、人々の温かさや素直さを失いつつある市や町が多くなりつつありますが、単に発展させる、それだけが住みよい町づくりではなく、大自然いっぱい、山あり海あり魅力あふれる新地。ただ単に発展させるのではなく自然を生かし、「素直」で笑顔あふれる新地人」をなくさないように発展させてほしいと思います。すし私達若者も心がけていきたいと思っています。

町の文芸

新地短歌会より

- 黒き猫駅の広場を悠然と
よぎりゆきけり晩春の午後
今を盛りと東風にゆれおり
荒 資農夫
- 裏山の一本の柝の花咲きて
池田サト
- 波寄するひばりの歌碑立つ塩屋崎
流れる唄声いとしてみて聞く
横田八重子
- 根っこ火を友らとかこみ健康を
祝いて冬至カボチャを食す
佐藤利子
- 吾が手足不自由なれど明日にはほ
望みを持ちて生きむと思ふ
目黒美津英
- 花開き賑はふ街に心解き
ライトブルーのネクタイを買う

七か所
釣りやスキーに連れてって



菊池美和子さん(岡)
S47.2.26生・血液型 A型・魚座
勤め先の事務所内で紅一点の菊池さん。彼女が所内の雰囲気明るくしているようでした。同僚が見守るなか、落ち着いて話してくれました。

○お勤めはどちらですか。
☆東北緑化環境保全(株)です。データ整理とか事務をしています。
○休日は何をしていますか。
☆犬を散歩に連れてつたりわりとのんびり過ごしています。
○趣味は何ですか。
☆バレーボールを週に二回ぐらいしています。遊海しち、93のビーチバレー大会

にも出たんですよ。一回戦敗退でしたけど。釣りとスキーも始めたいんだけど、だれか連れてってくれる人いないかな?(笑)
○あなたの性格は。
☆ちよつと落ち着きがないかな。今、二十一歳なんですけども歳相応の落ち着きを持ちたいです。
○理想の男性のタイプは。
☆特にないです。好きになった人がタイプかな。
○では好きな芸能人は。
☆永瀬正敏さん。
○町に対して一言。
☆大きな森林公園とかあったらすごくいいと思います。もしできたらキャンプなんかしたいですね。
(ありがとうございました)

グループ紹介⑥

集まれば、おもしろさいっぱい。

ボーイスカウト福島第百団

受験勉強、塾通い、クラブ活動と忙しすぎる子供たち。外で遊ばなくなったり、友達をつくれなくなったりする子供たち。今、彼らに一番必要なのは、自分で体験し、考え、ルールを学び、人や自然を思いやる心、自立心や創造力を養うことではないでしょうか。日本ボーイスカウト福島連

盟福島第百団(片平昭八団委員長)は、バランスのとれた人間教育を行う絶好の機会を提供しています。発足は昭和六十年六月で、県内で百番目としてスタートしました。団員は、町内の小、中、高、大学生ら男女合わせて三十五人、指導者・役員は二十人。



活動内容は、年三回野外キャンプ、町内の清掃、花いっぱい運動、サクラの植樹、バザーや募金活動。休日には親子で、自然観察の仕方などを楽しく学んでいます。入団して四年目になる大須賀良子さん(尚英中二年)は「いろいろな年代層の人と交流ができ、特に野外キャンプは最高に楽しいです」と明るく話してく

れました。ボーイスカウトはまったくのボランティア活動。この活動をバックアップしてくれているのが、鹿嶋ボーイスカウト育成会(菅野八重子会長・菅谷)で、メンバーは活動に対する理解者や元団員の家族が中心。何かあると物心両面の援助をしていただく強い味方だそうです。

団委員長の片平昭八さん(岡・60歳)は、「自分の体験を子供たちにお返ししたかった」と活動のきっかけを話してくれました。健やかな子供の成長を願う片平さんは、「車の中らごみをポイ捨てする大人が多い。子供の教育より、まず大人の教育が先です」と嘆いていました。

同スカウトでは九月十一、十二日に南狼沢のリンゴ団地でキャンプを予定しています。片平さんらは今ごろトイレをリースしたり、材料を集めに奔走していることでしょう。同スカウトでは団員を募集中です。申し込みは片平さん(☎④4147)へ。

小川のサルスベリ（百日紅） 花は豊作のあかし

今年の夏は、暑い日がないままいつの間にか過ぎてしまっただようである。こんな天候の気まぐれを、まともに受けてまいつている植物も多い。

今回登場するサルスベリもその一つである。例年であれば今ごろは、町内のあちこちに赤、白、紫などの花を咲き誇り、豊作のあかしとして喜ばれているはずなのに、今年は日照不足のためか花の見られないものが多い。

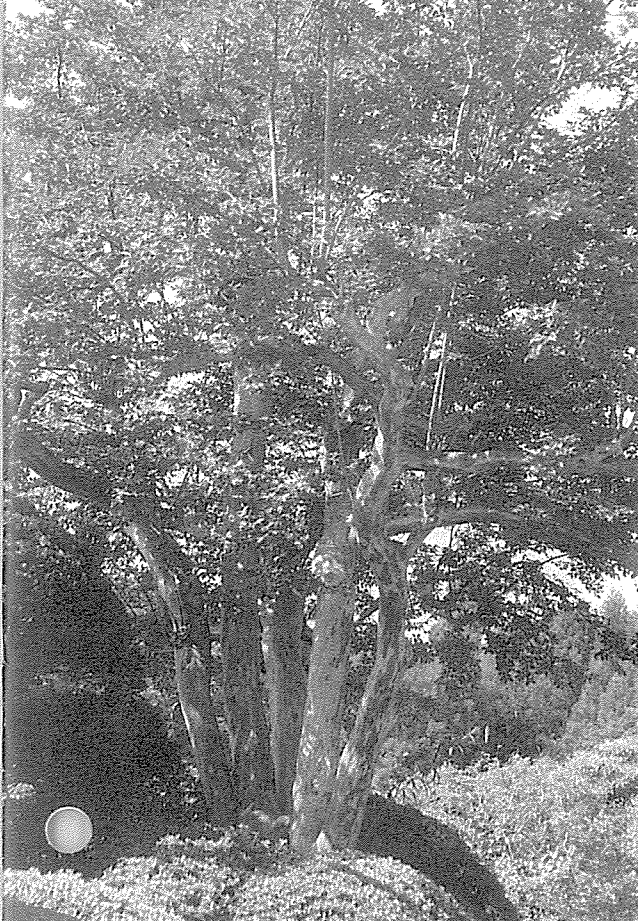
小川の伊藤英助さん宅のサルスベリも同じで、庭の中央にどっかと座っている様は名木の名にふさわしいものであるが、いつもの赤い花が見られないのが寂しい。伊藤さんの説明によれば、このサルスベリは亡父の広忠さんが昭和の初めごろ、庭を作る際、相馬市山上にあったものを譲り受け荷車で運んだものだという。大きな木を苦労して運んだようで途中、今の東邦銀行

のところにあつた警察署の窓ガラスを割りながら運んだというエピソードもあったという。

雨に咲く花の重さや百日紅
(渭城)

メモ

ミソハギ科、サルスベリ属、中国南部原産で江戸時代に渡来、最初は寺の境内などに植えられ、後に庭木として普及した。幹がつつるで、猿もすべりそうなことからサルスベリの名がつき、花の期間が長く、夏から秋にかけて百日紅の字が当てられたという。



樹種名	サルスベリ（百日紅）
所在地	新地町小川字天竺原106
所有者	伊藤 英助さん
根回り	2m（2本立て）
樹高	5m
樹冠	10m
その他	幹が5冠立ち

町長日記

荒和英

- 7月 農業委員辞令交付、しんち福祉会理事会
- 21日 オルターマイケル氏着任
- 22日 町農業農村活性化推進委員
- 23日 青少年健全育成町民会議
- 24日 県技術センター理事会
- 28日 農業振興対策協議会
- 30日 相双消防ポンプ操法大会
- 31日 相馬地方議会議員球技大会、漁協荷捌き場安全祈願祭
- 4日 伊達町との交流会、火葬場特別委員会
- 7日 遊海しんち93

今月の納税等

- 国民健康保険税 第3期
- 国民年金 9月分
- 水道料
- 第7、第15行政区

人口&世帯

8月1日現在（内は前月比）	
人口	9,042人 (+10)
男	4,423人 (+11)
女	4,619人 (-1)
世帯数	2,241世帯 (+4)

こちら編集室



▼今回、漁業を取材して感じたことが三つあります。一つは、不満をこぼす人がいなかったこと。親が仕事の不満を口にしないから、子供は父の仕事に誇りを感じて育つ。新地の漁業は後継者が多いと言われる理由が分ったような気がしました。▼二つ目は、自分の仕事を終えても帰らず、ほかの人の仕事を手伝う姿がいつも見られたこと。漁業を通して皆の心が通じ合っていて、人情の豊かさやおもいやりを感じました。▼三つ目は、私事で恐縮ですが漁業の漁の字も知らないで取材に入った私を、温かく迎え入れ全面的に協力をしていただいたこと。感謝。(M.S)

(資源保護のため再生紙を使用しています。)